

第1回

# 高次脳機能障害者 地域生活支援を考える会

## 高次脳機能障害者地域生活支援を考える会とは？

本会は、高次脳機能障害が地域に認識されない現状があるため、  
その啓発活動として発足いたしました。

また、高次脳機能障害者を支える家族のネットワークを広げられればと考えております。

### 第一部特別講演 13:00～14:30

#### 講演「高次脳機能障害者の 地域生活を支える社会づくり」

〈講師〉 やまぐちクリニック院長 山口 研一郎先生

〈座長〉 令和健康科学大学 リハビリテーション学部 学部長 稲川 利光先生



やまぐちクリニック  
院長  
山口 研一郎先生

〈略歴〉 1949年生まれ。長崎大学医学部卒業。脳神経外科、  
神経内科を専門とする医師。大学病院勤務などを経て、大  
阪府高槻市の「やまぐちクリニック」で高次脳機能障害の  
診療や認知リハビリに取り組む。「現代医療を考える会」代  
表。

〈著書〉 『脳受難の時代』(御茶の水書房)、『高次脳機能障害』  
(岩波書店)、『操られる生と死』(編著、小学館)、『生命い  
のち人体リサイクル時代を迎えて』(編著、緑風出版)、『国  
策と犠牲』(編著、社会評論社)、『思想としての「医学概論」』  
(共著、岩波書店)など。

### 第二部シンポジウム 14:40～16:40

#### ～高次脳機能障害とともに生きる～

「病気は誰でもなる可能性がある。可能性を引き出せず、高次脳機能  
障害者として一括りにされ、可能性を奪われている現状がある。」  
今回のシンポジウムでは、高次脳機能障害者の当事者と当事者を支  
える家族会の現状を知っていただくことを目的といたしました。「病  
気になっても安心できる、その人らしい生活を支援できる社会への  
一助へ。」

〈座長〉 令和健康科学大学 作業療法学科教授 山根 伸吾先生

### シンポジスト

〈家族の立場から〉 高次脳機能障がいを考える会「虹」  
遷延性意識障害者・家族の会 九州「つくし」

〈医療の立場から〉 福岡和白病院・香椎丘リハビリテーション病院

〈障がい福祉から〉 社会福祉法人あきの会・NPO 法人列島会

〈行政の立場から〉 福岡県庁

〈コメンテーター〉 やまぐちクリニック院長 山口 研一郎先生

令和6年

# 10/26 (土)

〈時間〉 13:00～16:40

〈場所〉 令和健康科学大学 2号館  
メインホール

〈住所〉 福岡市東区和白丘2丁目1番12号

〈定員〉 200名

**入場料無料**



応募は  
こちらから



〈お問合せ先〉 事務局 社会福祉法人あきの会 松崎 正晃 TEL : 092-651-7325 E-mail : reha-nijinoie@akinokai.jp

〈主催〉 高次脳機能障害地域生活支援を考える会実行委員

〈後援〉 福岡市 〈実行委員会組織〉 社会福祉法人あきの会 NPO 法人列島会 高次脳機能障がいを考える会「虹」 遷延性  
意識障害者・家族の会 九州「つくし」 令和健康科学大学 福岡和白病院 香椎丘リハビリテーション病院

〈応募方法〉 <https://forms.gle/RWaSni3DQaUezQGT9>